

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。町では、昨年、共創のまちづくりの理念の下、第5次町総合計画基本計画と過疎地域自立促進計画を策定いたしました。基本計画は、前期計画として平成26年度までのまちづくりの骨格についてまとめたところであります。また、過疎地域自立促進計画については、平成27年度までの計画を策定し、まちづくりの基盤となる施策の展開、事業の実施により、人口の減少に歯止めをかける努力を行ってまいります。重点分野を「子育て・教育」、「雇用・産業」、「地域」の三分野とし、地域に活力を創造すること、赤ちゃんとを産み・育てやすい環境づくりを推進すること、農業の振興と活性化を図るため、生産から加工・販売までを行う6次産業化を推進することなどに取り組んでまいります。そして、町づくりの将来像であります「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」の創造に向けて、町民の皆様と一体となってまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

昨年は、しらか元気づ子事業など子育て支援の推進や産業センターの設置、中山小学校跡地の利活用などに取り組んでまいりました。本年は、保育施設の整備の対応、農工商観の連携の推進、新荒砥橋の早期着工への取組みなどそれぞれの事業の具現化に向けて、関係機関、関係団体のご理解とご協力をいただき、着実に取り組んでまいれる所存であります。

母なる川「最上川」の流れが一滴の水から始まるように、まちづくりも町民一人ひとりの力を結集することによって、よりよいものができると考えております。町民の力がそれぞれの分野で有機的に結びつき、まちづくりの大きな力となっていくものと確信しております。本年も、まちづくりへの参画とご協力をお願いいたします。

本年が、皆さまにとりまして良い年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



白鷹町長 佐藤 誠七

あいさつ